

## あっぷりけ戦隊！奈良まもりたい（奈良県）

私たちは奈良県大学生等防犯ボランティア「あっぷりけ戦隊！奈良まもりたい」の代表、東本かおりと副代表の藤井健瑠です。よろしくお願いたします。私たちの活動が評価され、近畿代表に選ばれたことをとてもうれしく思っています。このような席でお話するのが初めてなので、緊張しておりますが、頑張ってお話いたします。私たちの活動について知っていただけたら幸いです。



### 活動地域の紹介

では、発表を始めます。まず、私たちの住む町を紹介させていただきます。奈良といえば、何を思い浮かべるでしょうか。奈良公園、天然記念物の鹿、東大寺の大仏など、修学旅行で一度は訪れたことのある人もいらっしゃるかと思います。平城宮跡、興福寺をはじめとする世界遺産、歴史的文化遺産が数多く残されている観光都市です。ぜひ、奈良県へ遊びに来てください。



### 団体概要

次に「あっぷりけ戦隊！奈良まもりたい」についてお話しさせていただきます。「あっぷりけ戦隊！奈良まもりたい」は警察庁の「若い世代の参加促進を図る防犯ボランティア支援事業」により平成22年に結成されました。全国で活動する防犯ボランティアの多くは65歳以上の高齢者で構成されていることから、若い世代の規範意識、防犯意識の向上を図るため、全国の警察で大学生によるボランティア団体が設立されました。名前の由来は地域を修復し、二度と破けない町にするという思いから、フランス語の「アップリケ」を用い、「あっぷりけ戦隊！奈良まもりたい」と名付けられました。今年で

発足年月日 平成22年9月10日(金)

- 全国の防犯ボランティア団体構成員の大半が65歳以上の高齢者で構成されていることから、若い世代の人たちに対する規範意識及び防犯意識の向上を目的として、大学生等を中心とした防犯ボランティア団体を立ち上げることにしました。
- 団体名は、当時のメンバーが防犯ボランティア活動を通して地域を修復し、その後は二度と破けないようにという意味を込めて名付けました。



平成27年9月末現在  
登録者数116名  
(実働員約30名)



活動は5年目を迎え、現在、登録者数116名、実動員約30名となっています。

こちらは「あっぷりけ戦隊！奈良まもりたい」のマスコットキャラクターです。皆さんから見て右側が「あぶりちゃん」です。チャームポイントは桜の髪飾りで、普段は鹿の姿をして奈良の平和を守ります。皆さんから見て左側が「まもるくん」です。奈良の町の人が安心して暮らせるよう毎日、見守りを欠かさない奈良を愛する少年です。「まもるくん」の肩に乗っているのは、コマドリの「こまちちゃん」で、空から奈良の町を見守っています。これは奈良県警察科学捜査研究所の女性職員の方がデザインしてくれました。

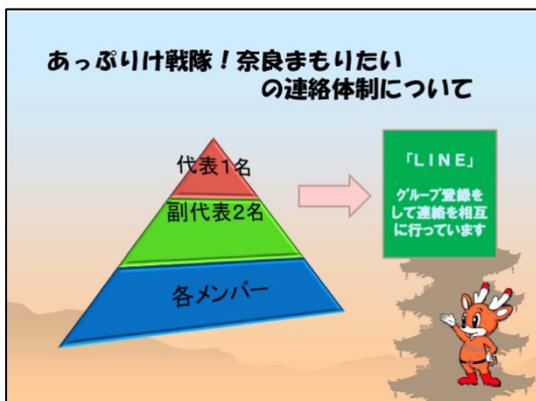


私たちが今、来ているポロシャツ、ジャンパーが普段の活動ユニフォームです。このユニフォームを着て、メンバーの一員として活動しています。背中には「警察庁指定防犯ボランティア」と書かれています。

体制についてお話しいたします。構成は奈良県の大学に在籍する学生だけでなく、奈良県在住で県外の大学に在籍する学生や、今年度は高校生の参加希望者もあり、一緒に活動しています。4年生になると、就職活動で忙しくなるため、3年生が代表として1名、3年生以下の2名が副代表を務めています。連絡体制は携帯電話アプリLINE<sup>ライン</sup>を利用し、団体グループをつくり、メンバー間で連絡を取り合っています。

これが実際の写真です。集合場所、時間などがすぐ共有できるようになっているので活用しています。活動が終われば、その活動に参加できていないメンバーにも内容を知らせることができるように写真を掲載したり、参加したメンバーからの感想を掲載しています。

では、ここから藤井が説明させていただきます。





の活動を行ったときの写真です。そのほかは子供の犯罪被害防止「いかのおすし」について説明したり、帰宅途中の女性に人通りの多い駅前で防犯ブザーを配布しているときの写真です。

1枚目の写真は定例会終了後に私たちが計画した駅前での女性の犯罪被害防止啓発活動の写真です。写真に警察官が写っていますが、この女性は「あっぷりけ」の元メンバーです。制服姿を見てかっこいいなと思いました。そのほかの写真は警察署からの依頼を受け活動したときに撮影した集合写真です。

こちらの写真も警察署からの依頼を受けて参加した啓発活動での写真です。被害に遭わないようにと思いを込めて、声を掛けながら、啓発物品などを子供や高齢者に配布をしているとき「ありがとう」などの声を掛けられると、うれしい気持ちになります。

この写真は今年の8月に私たち自身が企画して実施した被害防止啓発活動です。京都の大学生ボランティア「ロックモンキーズ」とは以前から交流があり、今回、合同で啓発活動を計画しました。夏休み期間中に京都と奈良との県境にある大型商業施設の協力を得て、「大学生と学ぼう 夏の防犯スクール」を開催しました。このときは奈良県、京都府の警察マスコット、奈良でおなじみの「せんとくん」などのマスコットが集結。奈良、京都の警察音楽隊のコラボ演奏、「女性と子どもの安全」「自転車盗難やひったくり被害」の寸劇、クイズなどを行いました。

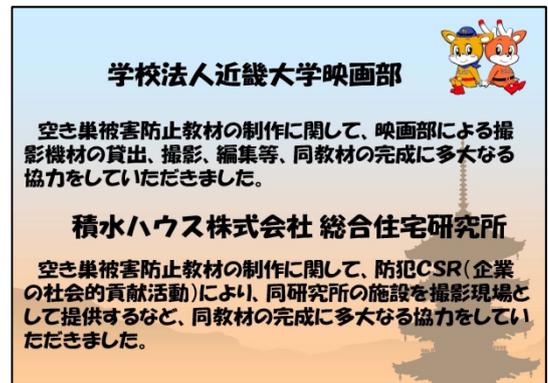


これまでに私たちは奈良県で活躍している地域のボランティア団体が行う防犯パトロールに参加したり、地域の安全マップの作成を経験させていただきました。

本年5月、私たちは空き巣被害の実態を紹介し、地域の方々に防犯意識を持ってもらうため、被害防止DVDを作成しましたので、紹介させていただきます。

これが、私たちがつくった被害防止DVDのパッケージとラベルです。被害防止DVDを製作するため、警察本部の担当の方といろいろ話し合いを行った結果、近畿大学の映画部、積水ハウスさんに協力していただけることになりました。定例会で「DVDを製作するためにも撮影する機材がない。どうすればいい

いか」という点を話し合い、メンバーに近畿大学の学生がいたことから映画部の協力を得ることができました。そのほか、撮影場所については京都との県境に積水ハウスの研究所があることをインターネットで見つけて、実際に研究所の人とお会いして、企画内容についてプレゼンをしたところ、「いいことだと思います。ぜひ、研究所の施設を利用してください」ということで、研究所内の戸建住宅、防犯コーナーを使用させてもらいました。



DVD を製作することになった経緯についてお話しします。ここに書かれているように昨年の9月の定例会で、地域住民の人たちが最も身近で不安を感じる犯罪として、空き巣に着目した私たちは「空き巣被害防止 DVD」をつくることを企画しました。インターネットなどで空き巣、居空き、忍び込みという手口を勉強し、どんな物語がいいのかなどを考えました。せりふなどもメンバーが考え、その都度、警察本部の担当者に何度も確認をしてもらいました。今年の1月からは本格的に演技の練習を行うこととなって、何日もかけて練習を行い、近畿大学の映画部にも演技指導をしてもらいました。

この写真は撮影当日の写真です。撮影場所は奈良公園、鉄道警察隊、通信指令課、積水ハウスの研究所の施設を使わせてもらいました。皆が驚くほど演技が上手で、家で必死に練習してきたことがよく分かりました。こちら



の代表の東本はお姉ちゃん役でした。副代表の私は主役として演じました。初めての経験なのでごく恥ずかしかったのですが、とてもいい経験をさせてもらいました。

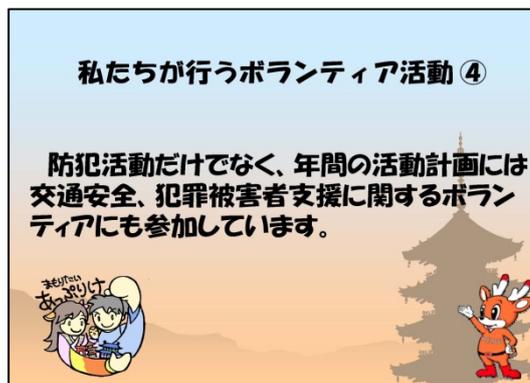
これは実際の映像を静止画にしたものです。ストーリーは、自宅で空き巣被害に遭った大学生が積水ハウス株式会社総合住宅研究所へとタイムスリップして、奈良県警察マスコット「ナポくん」からハード面の対策、近隣住民とあいさつ、声掛け鍵掛け運動などのソフト面の対策の重要性について学びます。その後、被害に遭う前へと、再びタイムスリップした彼が家族に防犯機器の設置を勧めたり、地域の絆の重要性を訴えた結果、未然に空き巣被害を防止できたという物語です。本編では侵入入口（空き巣、忍び込み、居空き）の紹介と被害の現状、自主防犯活動についても紹介しています。



空き巣の被害を防止するため、全国のハウスメーカーが防犯性能の高い建物部品（CP 部品）などの開発をしていることを知りました。この DVD には CP 部品の関する映像も含まれています。

そして今年の5月、ついに被害防止 DVD が完成しました。完成を祝い、警察本部で上映会を行いました。その際、製作に協力していただいた近畿大学映画部、積水ハウス総合住宅研究所に警察本部長からの感謝状が贈られました。この被害防止 DVD の製作について、新聞各社に記事にいただいたり、地元放送局の奈良テレビ放送では特集を組んでいただくなど、メンバーは達成感を味わい、また、モチベーションが上がりました。

この被害防止 DVD は奈良県の各警察署に配布して、地域から要望を受けて実施している防犯講習の際に活用していただいております。



そのほか、ポリスチャンネルというインターネットサイト（※現在は、公益財団法人警察協会が開設したビデオライブラリーで発信されています。）、近畿大学の公式ユーチューブでも見るができますので、この機会に一度ご覧ください。

私たちの活動は防犯が中心となりますが、ほかにも交通安全や犯罪被害者支援などの活動にも参加しています。防犯という活動を中心としながら、そのほかのボランティアにも参加してみたいというメンバーの希望などから実現しました。4月と9月は交通安全運動、11月は犯罪被害者支援週間なので、それぞれのボランティア活動にも取り組んでいます。

これは春の交通安全運動に参加したときの写真です。原付バイクの運転大会、吉本新喜劇の酒井藍ちゃんが一日警察署長となって高齢者施設への訪問活動などを行いました。

次に、こちらは昨年の11月に参加した犯罪被害者支援週間に参加した際の写真です。犯罪の被害に巻き込まれた方々のメッセージの展示会などのイベントに参加させていただきました。私たちは毎年、読まなくなった本を集めて、犯罪被害に遭われた方々を支援する「ホンデリング」という活動を行っています。毎年、集めた本を警察本部の犯罪被害者支援室の協力を得て、「なら犯罪被害者支援センター」に寄付をしています。少しでも犯罪被害に遭われた方々への支援になれば幸いです。



そのほか、私たちは県の教育委員会青少年生涯学習課が主催する「大学生ボランティア指導員養成事業」にも参加することになりました。この事業について説明すると、スマートフォンなどを日常的に扱う私たちが自らの視点や経験から、インターネット利用の危険性などを勉強し、来年の春に小中学校へ行って、子供たちがインターネット有害情報による青少年の犯罪被害やトラブルに遭わないために指導員となる活動です。今後は私たちの年間を通じた活動にしていきたいと考えております。

これまで説明させていただいた私たちの活動については奈良県警察のホームページにもその都度、掲載しています。

これまでに私たちが行っている防犯活動が評価され、平成25年に奈良県警察本部長から感謝状もいただくことができました。これがそのときの写真です。



## 質疑応答

---

●質問 活動の最初の企画は、皆さんでされているのですか、それとも、警察の関与も多分にあるのでしょうか。

また、活動資金はどこから調達して、年間どのくらいかかっているのか、教えていただけますでしょうか。

○回答 まず、活動の企画についてですが、発表の中にも出てきました「ロックモンキーズ」という京都府の団体さんと活動させていただいたときは、私たち学生のほうで企画させていただきました。それ以外は警察が主催するイベントに参加させていただくという形です。

次に資金ですが、警察のイベントに参加するということなので、費用はかからないのですが、交通費は自分たちのアルバイトで稼いだお金などで賄っています。